

官製春闘打破！賃上げと共に労働条件の改善も勝ち取ろう！！

「職場改善要求」申し入れに対する業務委員会開催《車両所編》

異常な社員管理は必要な指導なのか？

管理者による一方的な指摘・注意がボーナスカットの理由されている。このような恣意的な指摘行為は直ちにやめること。

これに対する会社回答は…

- **必要な指導は今後も実施していく考えである。**

しかし、現場で実際行われている実態は、柱や車内、物陰に隠れて監視する管理者の姿であります。また、作業の途中で諮問したり、執拗な張り付きでミスを誘発しています。これが会社の言う必要な指導なのか？指摘のための指摘であり、現場管理者の実績づくりでしかありません。直ちにこのような現場管理者の指摘のための指摘の社員管理をやめるように強く訴えてきました。

見せしめだけの復帰教育を中止すること！

「復帰教育」は、見せしめの教育であるため直ちに中止すること。に対しての会社回答は…

- **復帰教育を中止する考えはない。**

合格点をとっても元の業務に就けないなど、現場管理者の行き過ぎた見せしめの姿勢があることを強く指摘し現場指導することを訴えました。

検修庫の老朽化対策を早急に実施を！

検修庫の環境について、老朽化により労働災害の危険があることから、サービスデッキのコンクリートの剥がれによる凹凸や検修庫床面の段差、ピット内の排水詰まりや蛍光灯具の不具合など改善することを申し入れてきました。それに対する会社回答は…

- ・ 現状で対処されたい。なお、必要な修繕は適宜実施している。

会社は、修繕は適宜実施していると主張しているが、現場での感覚では労働災害の危険があると管理者に指摘しても、手配中として放置されていたり、目に見える老朽化対策が行われていない実態を訴えました。特に第二検修庫は築40年経過しているため大規模修繕を行うことを主張しました。

なぜ仕業検査だけ前照灯はハイビーム？

仕業検査時、前照灯の定位置は「全」位置で、常にハイビームの状態にあり、入換えの庫入線時眩しく前方確認出来ないのが危険であり、減光を基本とすることに対する会社回答は…

- ・ 前部標識灯が「全」位置の車両に向かって進む場合でも、一旦停止標識など運転に必要な目標物は十分に目視確認出来ると考えており、現状で対処されたい。

前照灯が「全」位置のため障害があるのは、入換えの安全確認だけでなく、線路横断時や仕業検査時にハイビームの光をまともに目に当たり視界が失われ労働災害の危険があることを指摘しました。しかし会社は頑なにマニュアルにあるとの主張を曲げませんでした。

他の職場改善要求についてもほとんどが「現状で対処されたい」というのみの回答が多数で、快適な職場環境にするという意志が感じられないものでした。

私たちは、今後も引き続き職場改善を訴えていきます！